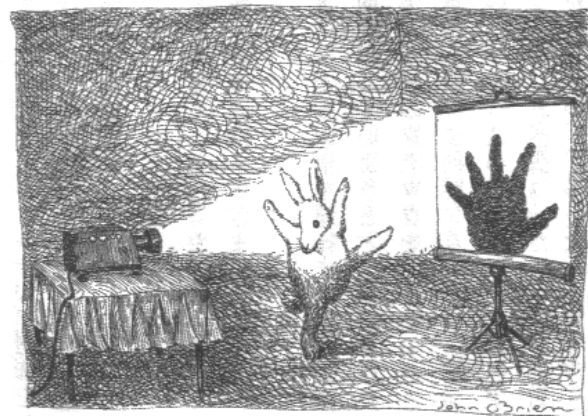


初診時診察内容

1. 問診：問診票は出来るだけ丁寧にご記入下さい。
2. 尿妊娠反応検査：問診の内容に応じて行います。
3. 内診（子宮癌検診・経膈超音波検査含む）：内診の補助手段として経膈超音波装置で子宮・卵巣などを観察します。パートナーの方も一緒に内診室に入って下さって構いません。
この時点で、まだ胎児はおろか胎嚢（胎児の住んでいるおうち）も見えないこともあります。そんな場合には約2週間程度時期をずらして再度診察を行います。
胎児の心拍が確認されている場合、多少の出血があっても、流産する事はありません（95%は流産しません）。出血があった場合、ばたばたと大慌てで病院に駆け込んでくるよりもまずご自宅で結構ですから安静を保って下さい。なおお電話でお問い合わせの際は前回の診察で「胎児心拍が見えたかどうか？」を教えてください。



射影は高次元の対象物の情報をすべては伝えられない。

超音波の画像は条件によって綺麗に見える時と見えない時があります。
また、直接目で見るのとは全く違った形に見える場合があります。

分娩予定日決定：妊娠9週頃

超音波でみた 胎児の大きさから必要に応じて 分娩予定日の修正を行います。

「分娩予定日」は妊娠を管理していく上でもっとも大切な要素ですから、この時期の診察は出来るだけ「予約日」をずらさないでご来院下さい。

分娩予定日が決まったところで妊娠初期採血をします。当院での採血検査の内容は、血液型・血算（貧血・血小板）・血糖・不規則抗体の有無及び各種感染症（梅毒・B型・C型肝炎・風疹抗体価・HIV）などです。

出産までのスケジュール / 産科医療補償制度の御案内等と共に、妊娠届出書をお渡しいたしますので妊婦さんご自身で必要事項を記入して母子健康手帳の交付を受けて下さい。小豆島内に住所のある方は次のところで母子健康手帳の交付を受けることができます。

小豆島町： 小豆島町役場(旧内海病院) 健康づくり福祉課・健康づくり係 TEL 82-7038

土庄町： やすらぎプラザ 土庄町保健センター

TEL 62-1234

母子手帳交付時の妊健補助券 1 を翌月の 5 日までに病院にお持ち下さい初期検査費用が返金されます。

以後特に問題のない妊婦さんの場合には約 4 週間毎の妊婦健診となります。

妊婦健診では毎回、体重・血圧測定・尿検査・胎児諸計測そして内診を行います。

健診に来られた場合 まず病院受付後 1 階検査室で採尿検査 ついで 4 階婦人科外来におこし頂き 体重・血圧測定をしてお待ちください。

妊娠前半超音波スクリーニング：妊娠 16-20 週

当院では妊婦健診ごとに超音波検査を行っていますが、この時期 ちょっと丁寧に胎児および胎児付属物（胎盤・羊水・臍帯）の観察をします。胎児の大きな異常の大まかなスクリーニングが目的です。

この時期には胎動がわかり始め、お腹もちょっとだけ目立ってきます。（しっかり目立っている場合は、お母さんの発育です！）

戌の日に腹帯を巻くのもこの時期です。ご自身で心地よい程度に巻くようにしましょう。

お腹からのエコーは 4D を含めて USB メモリに保存し おうちでご覧いただけます。



いない・いない

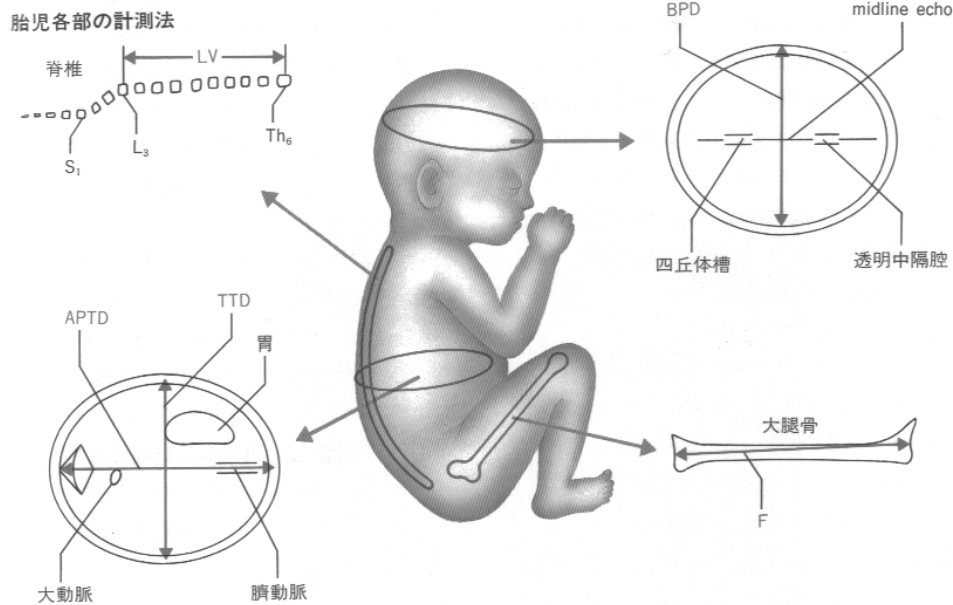
ばあ!

妊娠 20 週前後の妊婦健診で血算の採血検査を致します。

この時期以降、胎児計測は超音波の画面に胎児全体が入りきらなくなってくることもあり、BPD（頭の横幅）・APTD×TTD（体幹周囲）・FL（大腿骨の長さ）といった胎児の体の部分部分を計測していきます。胎児の推定体重も出していきますのでお楽しみに。なお胎児の性別もご希望の方にはお教えしますが、まず胎児計測を優先させて下さい。

妊娠後半超音波スクリーニング：妊娠 26-30 週

この時期、いつもより詳細に胎児および胎児付属物（胎盤・羊水・臍帯）の観察をします。出生直後から処置の必要な胎児疾患・母体搬送した方がよい疾患などのスクリーニングが目的です。この時期の妊婦健診は特に問題のない方の場合 2 週間毎です。



$$\text{EFBW (胎児推定体重)} = \text{BPD}^3 \times 1.07 + \text{APTD} \times \text{TTD} \times \text{FL} \times 3.42$$

胎児をこけしのようなものに見立てて体積を推定し体重を推定しています。

10%程度の誤差がありますからそのつもりでご覧下さい。

妊娠 28 週前後の妊婦健診でクラミジア抗原検査をします。

#クラミジア：性行為感染症の一つで産道感染により新生児に肺炎を引き起こします。

「陽性」の場合お産までにご本人およびパートナーの治療をします。

妊娠 30 週前後の妊婦健診で血算・血糖・HTLV-I 検査を致します。

#HTLV：成人 T 細胞白血病：ウイルスを介して伝染・発症する白血病です。母乳感染が主な感染経路で「陽性」の場合、人工乳に切り替えることで新生児への感染をかなりの程度抑えられます。

妊娠 35 週以降の妊婦健診で脛細菌培養検査をいたします。

妊娠 36 週より妊婦健診は特に問題のない方の場合でも 1 週間毎になります。

#この時期の妊婦健診では NST (胎児心拍) の観察を約 20 分間、また内診を行いますので、ちょっと妊婦健診に時間がかかります。また妊娠 36 週前後で血算採血検査を致します。

#出産準備・産科病棟(病院 4 階)への連絡方法や夜間の病院への入り方の確認・母親学級で習った呼吸法の復習などをしっかりしておいて下さい。

#陣発・破水・おしるし等で電話問い合わせをする場合には「外来で言われている注意事項」「外来での最終内診所見」などをお知らせ下さい。

それでは、元気な赤ちゃんに恵まれますように！

小豆島中央病院 0879-75-1121 (代) 0879-75-1184 (4 階西 産科病棟)